

経営比較分析表（令和6年度決算）

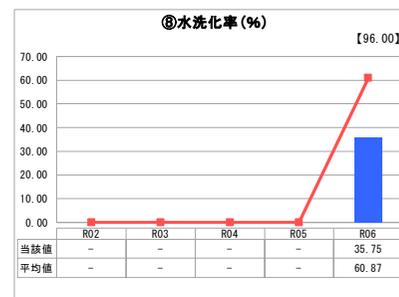
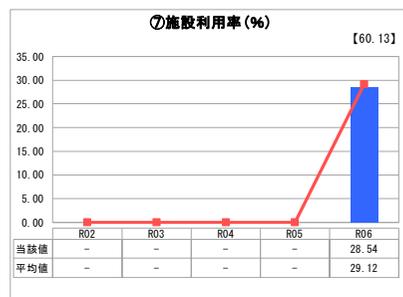
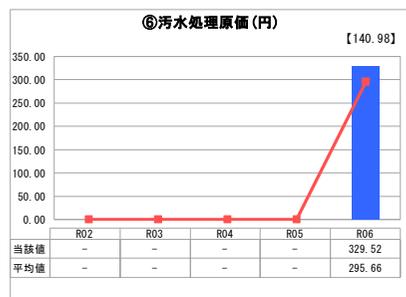
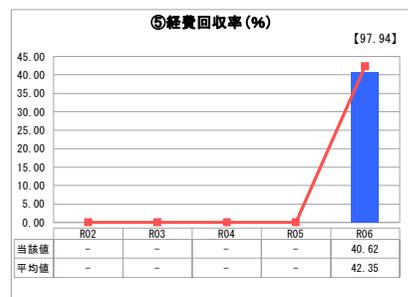
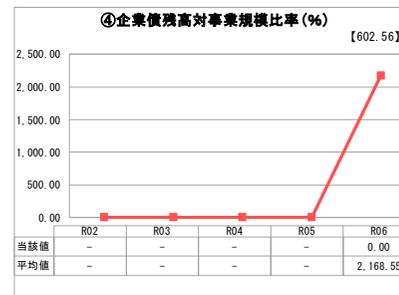
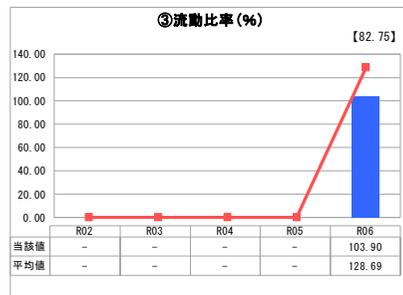
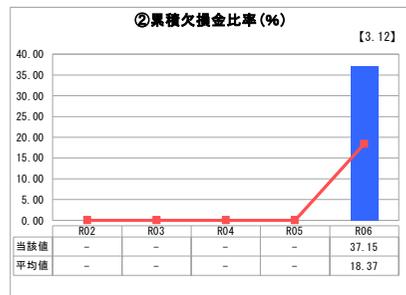
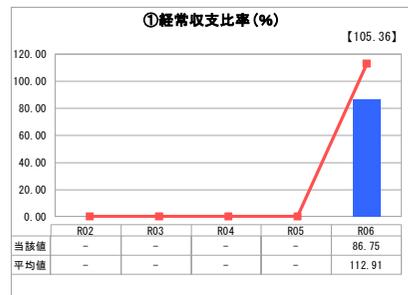
香川県 三木町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	58.11	21.52	67.78	2,731

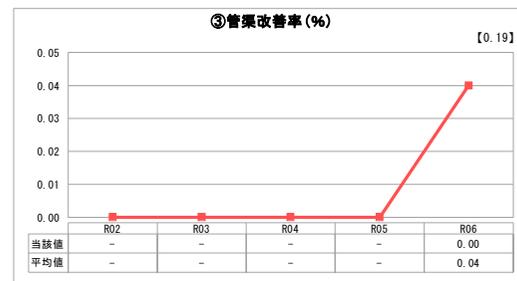
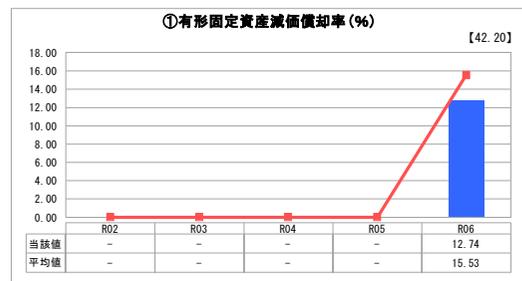
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
26,877	75.78	354.67
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,770	2.01	2,870.65

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

今年度は企業会計適用後、初めての決算となる。

本町では現在も継続して下水道管渠の布設を行っており、供用開始エリアの拡大及び普及促進により接続件数が増加している。今年度は、数年後に接続予定の大口施設を受け入れるための処理場施設を増設したため、処理能力が向上しているが、まだ大口施設が接続されていないため施設利用率が低くなっている。

下水道エリア拡大により使用料収入が増加しているが、処理施設の拡大及び維持管理費が高騰しているため、経費回収率が低く汚水処理原価もやや高くなっているが、大口施設が接続された後は、使用料収入の大幅増額が見込まれるためある程度は改善されると見込まれる。

しかしながら、水洗化率が低水準であるため、引き続き普及啓発等により水洗化率の向上に取り組み、効率的な施設運用を目指す。

収入の内訳については、使用料収入で賄えないものについて一般会計繰入金に依存しており、依然割合は高い状態であり、企業債の元金償還は一般会計からの繰入金を充当している。

累積欠損金比率については、還付対象外の消費税によるものであるため、経営に問題はない。

2. 老朽化の状況について

本町は供用開始から経過年数が浅いことから、該当するものがない。

全体総括

供用開始エリアの拡大と普及促進による接続率の向上により有収水量が増加しており、大口施設の接続も見込まれていることから、今後も引き続き使用料収入の増加が見込まれているが、町全体での人口は減少し、物価高騰により維持管理費の増加も想定されることから、使用料の見直しも含め、健全経営維持を目指して努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。